

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・「熊本YMCAの使命」を掲げ、すべての人たちが平和で豊かに暮らせる社会の形成を目指している。「熊本YMCAの使命」は、職員一人ひとりにカードを配布し、いつでも振り返ることができるようにしている。また、それぞれの施設に掲示されている。														8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・定期で研修を行うとともに法令に則り就業規則を設けている。																						16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・法人として公正な取引をすることに努めており、職員に向けて、コンプライアンスの重要性について研修している。																	10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・法人内に健全な心身を育むための担当チーム、文化教養を習得するための担当チーム、地球環境保全等を啓発するための担当チームを配置している。																						16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・法人のコンプライアンスを維持すると共に顧問弁護士を配置して知的財産の保護に取り組んでいる。											8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報を扱うデータにはパスワードを設定している。 ・個人情報の適切な管理をするため、全職員に対して誓約書の提出を求めている。																						16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・直接対面およびアンケートによって利用者の状態の把握に努めており、双方向のコミュニケーション向上をはかっている。																						16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・「熊本YMCAの使命」を事業パートナー(関係業者)にも説明し、賛同いただけるよう取り組んでいる。					5						8		10			12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●															9		11			13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●															8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・YMCAフィランソロピー協会として、フェアトレードシビックまもと推進委員会と協働し、毎年冬にフェアトレードチョコレートの販売をしている。昨年の実績は、約500個。 ・また、イベント時にフェアトレード商品販売のブースを積極的に設けている。	1	2			5						8						12	13	14	15	16	17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ジェンダーフリー委員会を設置していつでも相談できる体制を整え、働きやすい職場環境づくりに努めている。 ・雇用条件および職場環境において、差別しない体制、運営を徹底している。 ・毎年2月に、いじめをなくす世界的な活動の「ピンクシャツデー」を実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・リスクマネジメント委員会を設置し、定期的に啓発活動を行い、リスクマネジメントの向上を図っている。			3						8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員(正職員・契約職員・パート・アルバイト)の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児への積極的な参画を推奨している。			3		5.5				8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・パート職を含むすべての職員向けに、年に2回の研修を実施している。 ・世界YMCAや日本YMCAが開催するプログラムへ職員派遣をしている。 ・海外YMCAへの職員派遣も行っている。				4	5.5				8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。			3						8												17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務上の役割や昇進について人種・性別などの違いによる差別的待遇を行わないようにしている。 ・多文化共生をテーマにした研修を行っている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・各種会議において、ウェブ会議を導入している。			3						8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12								
21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・園において、ごみや産業廃棄物等の処理は専門業者に依頼して適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2023年9月までに簡易計算シートを用いてエネルギー使用量の算出、及び水道使用量のチェックを行い、節電、節水を行う。 ・【予定】2023年9月までに照明をLEDへ移行し電力の削減の取組みを。								7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】簡易計算シートを用いて温室効果ガスの排出量を算出し、削減目標を決め、2023年9月までにCO2排出の削減を行う。 ・【予定】2023年3月までに公用車(送迎バス)の運行路線を見直し、運行時間の短縮、台数の削減を行う。			2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ホテルの幼虫放流・ホテル観賞会・園外保育・キャンプ(お泊り保育)を通して生物多様性や、生態系に関する学びを行っている。						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ゴミ拾いのボランティア活動など行い、3Rを推進している。保育教材などを廃材で作成し利用し、資源の無駄遣いを少なくしている。											9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している。 ・田植えなどのボランティア、植林地の管理など、水源涵養に関わっている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b							11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入に努めている。												9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4										14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・菜園を設置し、食物栽培を行う。森の遊歩道を設置し、森のしくみを学び環境保全に努めている。 ・菜園にて食物の栽培を行っている。														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・園舎にソーラーシステムを設置し、床暖など暖房などに用いている。									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●														9.4			11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・定期的にSDGsに関する学びを行っている。園においては、実質自然エネルギー100%の電力を使用し、CO2削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

Table with columns: 分類, No., チェック項目, 基本, チャレンジ, 具体的な取組み (※事業者が記載する欄), and 17 SDG goal columns. It lists various initiatives for product services and sustainable society.

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。